

2022 AUTOBACS SUPER GT ROUND6 SUGO GT 300KM RACE

NISSAN MECHANIC CHALLENGE

Race Report

栃木校担当



この活動は下記のパートナー企業様に支えられています。

NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA FITWORK UD TRUCKS Logisnext 日産車体 株式会社ゼロ 日産モータースポーツ&カスタマイズ
ALTA ROCK PAINT PREMIER Assist YEARS COAT Premium TOPPAN NGK NTK MAL TOOLS Deff KAMMOTO 2007 BOW CO.LTD. LS LS KSB
SUNTORY pepsi PUMA 日産東京 日産プリンス栃木 日産プリンス埼玉 埼玉日産 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産
日産プリンス三重 愛知日産 日産プリンス名古屋 日産大阪 兵庫日産 愛媛日産 日産プリンス福岡 日産プリンス秋田 長野日産 松本日産
千葉日産 日産プリンス千葉 日産自動車販売 浜松日産 京都日産 日産サテリオ佐賀 日産プリンス長崎 青森日産 日産サテリオ弘前 岩手日産
日産プリンス岩手 日産プリンス宮城 栃木日産 新潟日産 甲斐日産 日産サテリオ千葉 日産サテリオ湘南 石川日産 福井日産 日産プリンス静岡
三重日産 和歌山日産 岡山日産 日産プリンス広島 日産プリンス山口 福岡日産 日産プリンス大分 宮崎日産 鹿児島日産 

【GT300クラス レース結果】

2022. 09. 17 (Sat) : Qualify Day
Weather: Cloudy / Track: Dry

Q1: ドライバーはオリベイラ選手が担当。サクセスウエイトが100kg、さらに今大会より性能調整 (BoP) が厳しくなった。そんな中挑んだQ1のタイムは1' 18.908でAグループ7位でQ2進出となった。チームとしては岡山国際サーキットで行なわれた開幕戦以降、毎戦Q2への進出を果たした。



Q2: ドライバーは藤波選手が担当。残り3分を切ったところで1' 18.240をマーク。公式結果は8位となるが、前戦の鈴鹿戦のペナルティにより4グリッド降格で、決勝レースは12番グリッドからのスタートとなった。



2022. 09. 18 (Sun) :Race Day
Weather:Cloudy/Rain / Track:Dry/Wet

曇り空の中、沢山のレースファンがスポーツランド SUGO に来場した。



14時05分、藤波選手がスタートドライバーでレースがスタートした。スタート直後から他車のアクシデントでSCカーが導入されるなど波乱の幕開けとなった。スタートから15分ほどが経過した頃、サーキット内に雨粒が落ち始めた。次第に本降りとなったため56号車だけでなくライバル勢もドライタイヤからレインタイヤへ履き替えた。その後も雨が降ったり止んだりの難しいコンディションの中、藤波選手はライバル達をオーバーテイクしていく。

43周目、ピットインした56号車は藤波選手からオリベイラ選手にドライバー交代。ライバル勢がレインタイヤを履く車両が多い中、ドライタイヤを選択しコース復帰。その後、オリベイラ選手もサーキットを湧かせるレースを見せ、56号車は見事4位でチェッカーフラッグを受けた。



【56号車ドライバーインタビュー】

～ 藤波 清斗選手 ～



Q. 今大会は車の条件がかなり厳しい（ウエイトや性能調整）と思いますが、手ごたえはいかがですか？

A. 大会側からの性能調整は響きますが、チーム、タイヤメーカーさん、メカニックチャレンジメンバーも頑張ってくれているので、車の調子は今までで一番と言えるくらい良いです。

Q. SUPER GT の楽しさを教えてください！

A. 世界最高峰のF1の観客数にも近づいて来ているカテゴリーで、盛り上がってきているのはすごくいいこと。戦う場としてもSUPER GTに出たいという一つの目標を持ってドライバーをやっているのもあるので、そういった面でも面白いカテゴリーだと思います。

Q. これからの目標を聞かせてください！

A. KONDO Racing に加入して、一年目にシリーズチャンピオンを獲得し、昨シーズンはチャンピオンを取り切れなかった。今年三年目なので、なんとしてもチャンピオンを取って、まずGT500に乗りたい。そして世界に通用するレーシングドライバーになりたいです。

Q. 日産自動車大学の学生に一言お願いします！

A. いつも学生さんは自分たちで工夫して一つ一つ落ち着いてミスなく作業している。それはドライバーとしてありがたいし、皆さんに応えたくて走っています。最終戦のチェッカーを受けたときに学生のみんなとチャンピオンを分かち合えるようにレースしているし、学生のみんなも行動してくれていると思うので、引き続きみんなで頑張っていきましょう！

～ JP・オリベイラ選手 ～



Q. 今大会は車の条件がかなり厳しい（ウエイトや性能調整）と思いますが、手ごたえはいかがですか？

A. 前戦のペナルティによりグリッド降格となり12番手スタートではあるが、土曜日のロングランのシミュレーションでは車もタイヤも良かった。決勝では雨もあり得るのでチャンスはあると思うので、クリーンレースをしてポイントを持ち帰りたいです。

Q. SUPER GT の楽しさを教えてください！

A. GT500とGT300が混走していて、とてもドラマチックな展開になることです。

Q. これからの目標を聞かせてください！

A. 今後のプランとしてははっきりとはないが、ドライバーとしてドライブできる限りは乗り続けたい。その後は、長いレースキャリアの経験を活かせるマネージャーやディレクターの仕事してみたいです。

Q. 日産自動車大学校の学生に一言お願いします！

A. いつも応援ありがとう！一緒にレースできて楽しいです。チームとしても学生が頑張っているのはありがたいです。

**レース前の貴重なお時間をいただき、
ありがとうございました！**

【日産販売店TSインタビュー】

日産プリンス栃木販売株式会社

阿久津 祐太さん
(栃木校第32期卒業生)



レーシングカーの整備は、普段の整備とは内容は大きく違うが、最終的に車を組み上げる際の正確性、限られた時間の中で作業するという点では、店舗での業務と変わらないと感じました。今回の活動で、車を整備する上での正確性、要領、ミスをしない仕事を学ぶことができました。学生の皆さんも参加すればすごく自分の身になると思うので、チャンスがあれば参加してください！

株式会社日産サテリオ弘前

今 亮介さん
(栃木校第21期卒業生)



昔からレースを見るのが好きでしたが、ピット内をじっくり見る機会などはなかったのですごく楽しみにしていました。やはりコンマ一秒を争う世界なので、工具や設備がすごく精密なのも驚きました。トラブルがあった際は一度落ち着いてどうしたらいいかを考えるなど、すごくチームワークが取れていました。工具の整理整頓もきっちりされていたので、店に帰ってから見直してお客様に迅速なサービスを行なえるようにしたいです。

【参加学生インタビュー】

日産栃木自動車大学校

学生スタッフリーダー 4年 林 篤志

チームをまとめる総リーダーとして、参加してくれた学生に常に気を配り、体調管理や楽しいと思える環境作りを意識しました。多くの学生に興味を持ってもらい、また参加したい、参加してみたい、そう思ってくれるように努力することができたと思います。



学生スタッフ副リーダー 3年 大澤 謙世



総リーダーを始め、ホスピススタッフの各班リーダーと連携を取りながら、ゲストエリアの運営をスムーズに行なうことを自分の中の目標として参加しました。

しかし、初参加の学生をうまくまとめられなかったり、トラブルが発生したときの対応に焦りが生じたりと、改めて一つの集団をまとめることの大変さを痛感しました。最終戦のもてぎ戦では自分が総リーダーを務めるため、今回の反省点を改善できるようにしたいと思います。

ピットスタッフ 1年 柴 亮太

私はこの活動に参加してチームワークを学びました。作業を見ていて、今何をしているのか、次どんな作業をするのかをメカニック全員が分かっている、声かけやチームメンバーにしっかり物事を伝えることが大切だと感じました。この活動で学んだことを学校生活や就職先でも活かせるように努力していきます。



ピットマネージャー 3年 森島 武流



ピットマネージャーとしてドライバーのサポートをしました。大半がピット内での活動だったので、ピットの雰囲気を感じることができました。しかし、初参加のメンバーを指導しきれなかったと感じるので、改めて誰かをまとめることの大変さを実感しました。最終戦のもてぎ戦は、今回学んだことを活かして自分を成長させたいと思います。

【活動の様子】



【広報活動を振り返って】

広報リーダー 4年 成田 颯

私たち広報は、現場で実際に自分たちの足で取材・撮影を行いません。今回は初参加のメンバーがほとんどだったので、一人一人がよく考えて行動すること、臨機応変に対応することが求められました。また、サーキット内は敷地が広いので、しっかりメンバー間で連絡を取り合うことが重要でした。次戦参加させていただく、もてぎ戦でもチームワークよく活動したいです。

この活動は、KONDO Racingの皆様をはじめ、スポンサー様など沢山の皆さまに支えられて活動ができています。このような貴重な経験をさせていただけることに感謝を忘れず、これからの活動も一人一人の成長に繋がるように頑張っていきます。



(広報メンバー)

成田 颯 / 佐山 剛輝 / 金井 咲斗 / 熊谷 飛鳥